

**ボランティア
応援隊**

さくら市市民活動支援センター「さくらいふ」はボランティア活動の拠点です。会議室の貸出や相談対応など、皆さんのボランティア活動をトータルに支援しています。誰でも自由に利用できるフリースペースもあります。ボランティア活動に限らず、皆さんの交流拠点としてもご活用下さい。

初のお祭りを開催しました

去る11月6日「なんじゃもんじゃフェスティバル」という名のお祭りを開催いたしました。R2年4月に当センターがオープンして以降、コロナ禍で2度断念したのですが、ようやく開催することができました。ボランティア団体の成果発表の場としてはもちろんのこと、お祭り準備や運営といった様々な共同作業を通して「チームさくら市ボランティア」としての、一体感を作り出せたことが最大の収穫です。

1000人近くの来場者、数十人のボランティアスタッフ、そして様々なボランティア団体によるステージやワークショップなど、50近くのプログラムを擁する盛大なお祭りになりました。今回のお祭りは、さくら市国際交流協会との共催です。目玉ステージである民族衣装ファッションショーでは、多くの外国人が登壇してくれました。また、ステージだけでなく、ボランティアスタッフとしても参加してくれたこと、大変感慨深かったです。

フェスティバルのコンセプトは、ズバリ「インクルーシブ」。人種、国籍、宗教、性別など、様々な「差」を乗り越え、社会全体で包み込み、支え合う社会の実現を願い「なんじゃもんじゃ」と名付けました。まさにそれを体現したお祭りとなったこと、私たちの誇りです。

最後に・・・このお祭りはボランティアの力なくして、実現できませんでした。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました！



民族衣装ファッションショー



ワークショップ

Thank you for coming.

なんじゃもんじゃフェスティバル実行委員

来年、またお祭りでお会いできますように。



なんじゃもんじゃフェスティバルへのご来場、ありがとうございます。
はじめてのイベントで、想定を超える来場者の数に、一同おどろいています。
この機会に、市民活動支援センターさくらいふと国際交流協会を知っていただけたら、うれしいです。
ぜひ、あそびに来てください。



さくら市長挨拶



参番館の様子

登録団体ご紹介

現在登録されている70前後の団体・個人のうち、一部をご紹介します。
団体へのお問い合わせは、下記連絡先もしくは当センターまで。

下記の3つ以外にも多くの団体があるよ。詳細は当センターのホームページにて公開中！



さくら市ごみ問題を考える会

連絡先 028-685-1018 (津浦景子)

みなさんは家庭から出る生ごみを、どう処理していますか。

私たちの会では、生ごみとボカシを混ぜて発酵させ、ボカシ肥料として活用しています。ボカシは、米ぬか・油かす・焼成骨粉・くん炭・EM菌・糖蜜・井戸水をかくはんして作ります。市内100名の会員が10のグループに分かれて、毎月第1土曜日に交代してボカシを作り、会員に配布しています。

ボカシ肥料の効果は、野菜や花を見ればよくわかります。家庭から出る生ごみを焼却ごみに出すのではなく、ボカシ肥料として活用してみませんか。

入会大歓迎です。喜連川支所付近東側に活動室があります。



irodorinote/イロドリノオト

連絡先 https://instagram.com/irodori_note/

4年前に夫の転勤に伴いさくら市に越してきました。栃木には知り合いも誰一人おらず、ほどなくしてコロナ禍…。参加するコミュニティも見つけられずに孤独な日々を過ごした経験から「自分の居場所」と「同じような想いをしている方への居場所」が必要と感じ、イロドリノオトを作りました。

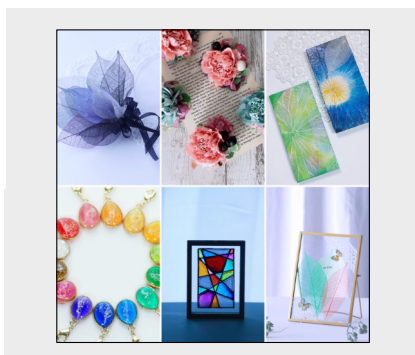
【色】を使ったモノづくりを通し、孤独感・断絶感などが少しでも和らぐような、やさしい場を作れたらと思っています。

普段は宇都宮にてグリーンケアの活動もしています。

心にも添えるような【クラフトセラピー】を目指して少人数での継続できる繋がりを心掛けます。色々なワークがありますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。



IRODORI.NOTE.



花だより

連絡先 kaorich225@gmail.com

暮らしにお花を取り入れてみませんか～🍀

生花とプリザーブドフラワーどちらでも、デザインにより選べて、両方楽しめます。アレンジメントの基本(お花を生かすコツやワイヤリングなど)は教えますが、自由に楽しくがモットーです。生徒さん同士で、そんな生け方も素敵ねーなんてお互いを褒めあったり…楽しみながら上達できます。

季節を感じられる生花は、気を上げ、パツと明るく、心に潤いを与えてくれます。生花や葉から作るプリザーブドフラワーは、スタイリッシュで長持ちする良さがありません。自分で作った物には愛着も湧きますね。入会金はないのでお気軽に！

月に1～2回開催。体験随時受付中。お申込みはメールにて。



◆ 開館日

火～土曜日 9:00 ~ 21:00

17:45以降は会議室の予約があるときのみ開館

◆ 休館日

日、月、祝日、お盆、年末年始

さくら市市民活動支援センター さくらいふ
〒329-1311 さくら市氏家1857番地

TEL 028- 615-7117

FAX 028- 615-7973

Mail chodo-e@sakura-casc.jp



LINE
公式アカウント
お問い合わせ
に便利です！

あ
と
が
き

ボランティアコーディネーターのつづき

階段を一つ飛ばしで駆け上がったのは何年ぶりでしょう。フェスティバルでは、1日駆け回るようになったのですが、たくさんの方にきていただき、充実した1日となりました。(市川)。

ペロペゴポン星人は、別の宇宙から来ています。疲れた脳みそから飛び出たキャラが、ここまで活躍してくれるとは思いませんでした。また来年お会いしましょう(米山)。

お祭りの準備は大変でしたが、関わってくれた皆さんと、一緒に作り上げるプロセスを通して、絆が深まったこと、大きな収穫でした(濱口)。



ホームページ